

北海道の肉用鶏農場で

高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認！

今シーズン家きん1例目！

【概要】

・北海道厚真町 肉用鶏 約1.9万羽

10月16日、簡易検査陽性。

10月17日、遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認された。(家きん国内1例目)。

※10月17日は養鶏場での発生として、
近年では最も早い時期での確認！

十分な
警戒を!!

<発生予防対策のポイント>

①農場に入る全ての人・車両・物品の洗浄・消毒

農場周囲にはウイルスが存在するものと認識

②衛生管理区域・家きん舎ごとに専用の長靴を着用

着替え・履き替えの前後で交差しないよう明確な境界線の確保

③ウイルスを媒介する野生動物の侵入防止対策

防鳥ネットの点検・補修のほかネズミ・ハエ等の定期的な駆除

※鹿児島県の事例ではオオクロバエから

高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されています。

<早期発見のポイント>

特定症状 顔面の腫れ、産卵の低下や停止、肉冠や肉垂のチアノーゼ等

死亡羽数 1日の死亡率が過去3週間の平均の2倍以上等

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト:

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018